



### 3. 活動内容

#### (1) 1年間の主な活動内容について

##### ①各学年の取り組み

##### (3年生)

1学期は、獅子舞の歴史や道具等について調べた後、4年生や地域の方から動きについて教わった。調べたことや教わったことは国語の報告文をまとめる学習を活かし、マニュアルを作成した。その中に「獅子舞は大切に受け継がれてきたものだから、次の3年生のみなさんもがんばってください。」という児童の言葉があり、獅子舞を大切に思う気持ちが見られた。

2学期は和菓子について調べたり、体験したりした。和菓子の種類や和菓子に関わる人々の思いについてふれた後、和菓子店へ見学に行った。見学では、和菓子職人の思いや努力等をインタビューから明らかにすることができた。調べて分かったことは社会科で行ってきた新聞作りを活かしてまとめた。

3学期は、茶道がどのようなものかを知り、体験を通して学ぶことができた。児童は和菓子職人、茶人といった人が相手を大切に思うおもてなしの心を持っていることに気づき、自分達もおもてなしをしたいという意欲を持つことができた。



##### (4年生)

1学期は、加賀獅子舞について学習した。昨年度は刀を用いた演技だったが、今年度は長い棒を用いて演技を行った。児童同士で「今日の休み時間にまた練習しよう。」「次はこんな所に気をつけよう。」などと声を掛け合いながら、意欲的に練習を積み重ねた。発表会では息の合った演技をすることができた。

2学期は、金沢の偉人である大野弁吉や銭屋五兵衛、三文豪等について学習した。からくり記念館に見学に行き、生い立ちなどについて学ぶと共に、様々なからくりと親しむことができた。児童は、「またからくり記念館に行きたい。」「もっと大野弁吉について知りたい。」と話していた。他の偉人についても偉人館の方をゲストとしてお招きし、学ぶことができた。学んだことは模造紙を使って発表したり、パワーポイントを使って発表したりすることができた。



3学期は、金沢の伝統工芸である金箔について学習した。金箔壇商工業協同組合の方々を招き、箔貼り体験を行った。

##### (5年生)

1学期は、伝統芸能の伝え合いを行った。5年生は、4年生に加賀獅子舞の棒振りを教えた。6年生から早撃ち太鼓、豊年太鼓を教わった。成果は1学期の伝統芸能発表会で保護者、地域の人に発表した。

2, 3学期は、「大野の川と海を広げて調べよう」という課題で取り組んだ。社会科で漁業を勉強した時、「どうして海辺の大野に漁師さんがいないのか」という疑問を持った。地域にお住まいの元漁師さんにインタビューすると金沢港新設が関係していることが分かった。大野川や金沢港の変遷も調べていくと、昔は大野港が北前船で栄えていたことも分かった。さらに、北前船を調べると大野醤油が隆盛した理由へとつながっていった。そこで、「大野に漁師さんがいないわけ」「金沢港のできかた」「今の金沢港」「昔の大野川」「北前船」「大野醤油」のテーマで調べ、1月に保護者の前で発表した。調べたり、発表したりすることを通して、児童は故郷大野の川と海を先祖達の願いも込めて持続発展させていこうと考えるようになった。

これに加えて、3学期は6年生から悪魔払いを受け継ぎ、それを「6年生を送る会」で発表した。伝統を受け継いでいくことへの決意を表すことができた。



(6年生)

1学期は、大野町の伝統芸能である悪魔払いについて調べた。その中で、悪魔払いが地域の安全や発展を願って行われていること、大野の他にも行われている地域があり、地域によって違いがあること等を知ることができた。

2学期は大野町の防災について学習した。大野町は海に近く、海拔が低い土地であることから、津波の被害を受けやすい。その割には、子ども達の中で防災の意識は低く、地域の防災意識を高めることをめあてに学習のテーマを設定した。「津波とは何か」「津波の被害」「津波への対策」「大野町の津波対策」この4つのテーマで調べ、授業参観で発表するとともに、学校のホームページに手作りのハザードマップを掲載する等の方法で発信した。普段から防災袋の用意、避難場所や家族の集合場所の確認をしておく、津波が来たらどんなに小さい津波であっても絶対に川や港のそばに近づかずに近くの高台に逃げること、高台は神社・保育園・金石町小学校や金石中学校であること等を学ぶことができた。この学習を通して地域の安全への意識が高まった。



3学期には、卒業を前に悪魔払いを5年生に教え、地域の伝統を引きつぐことができた。

## ②成果と課題

児童アンケート「大野町の地域学習で学習したことをまとめ、発表している。」

(4点満点)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
H27	4	3.7	2.9	3.9	3.4	4
H28	3.7	4.0	3.9	3.0	3.4	3.7

教師アンケート (4点満点)

		H25	H26	H27	H28
成果目標	総合的な学習の時間では、児童一人一人が課題を持ち、意欲的に活動している。	3	3.3	3.6	3.4
努力目標	他教科との関連を図り、総合的な学習の時間を指導している。	3	3.3	3.6	3.4

アンケートの項目に「まとめ、発表している」とあり、その場を持つことができなかった学年の数値が昨年度よりも低下してしまうという結果となった。下級生への発表や他校への発信をカリキュラムに盛り込む等の改善を今後図っていきたい。教師アンケートの数値は昨年度よりも低下している。今年度カリキュラムの修正があり、他教科とどのように関連付けて学習をしていくかを年度当初カリキュラムに盛り込むことができなかったことや、どのように学習を進めていくかを確認する場を設けることができなかったことがその原因として挙げられる。来年度に向けて、校内研修の場を設けることで改善していきたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）